

公益財団法人みちのく未来基金
第11期(2021年10月～2022年9月)事業計画

1. 事業計画の概要

「奨学金の給付および奨学生の交流の促進」

東日本大震災において両親またはいずれかの親を亡くした遺児のうち、大学、短期大学、専門学校に進学する生徒を対象に奨学金を給付するとともに、遺児同士のコミュニケーションの促進を図り、心のケアにつなげることを目指します。

2. 第11期における事業実施計画

① 奨学金給付者数

第10期給付対象人数および第11期生の給付申請状況は以下の通りです。

◆ 第10期給付対象者数 (単位:人)

	合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	293	92	163	18	20
国公立大学	33	13	17	0	3
私立大学	199	60	113	13	13
短大・専門学校	61	19	33	5	4

【内訳】

		合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	2期生	1	0	1	0	0
	3期生	1	0	1	0	0
	4期生	1	1	0	0	0
	5期生	8	4	4	0	0
	6期生	9	3	4	1	1
	7期生	54	17	31	4	2
	8期生	62	21	31	5	5
	9期生	84	25	44	5	10
	10期生	73	21	47	3	2
国公立大学	2期生	1	0	1	0	0
	3期生	1	0	1	0	0
	4期生	0	0	0	0	0
	5期生	2	1	1	0	0
	6期生	2	2	0	0	0
	7期生	5	3	2	0	0
	8期生	8	1	5	0	2
	9期生	8	3	4	0	1

	10期生	6	3	3	0	0
私立大学	2期生	0	0	0	0	0
	3期生	0	0	0	0	0
	4期生	1	1	0	0	0
	5期生	6	3	3	0	0
	6期生	6	1	3	1	1
	7期生	47	12	29	4	2
	8期生	47	18	22	4	3
	9期生	48	14	26	3	5
	10期生	44	11	30	1	2
	短大・専門学校	2期生	0	0	0	0
3期生		0	0	0	0	0
4期生		0	0	0	0	0
5期生		0	0	0	0	0
6期生		1	0	1	0	0
7期生		2	2	0	0	0
8期生		7	2	4	1	0
9期生		28	8	14	2	4
10期生		23	7	14	2	0

※2021年8月末現在

基金発足時から2021年8月末現在、第1期生から第10期生までの延べ給付人数は974名です。

	合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	974	326	532	59	57
1期生	96	36	53	6	1
2期生	126	37	79	6	4
3期生	111	46	50	10	5
4期生	104	31	63	2	8
5期生	93	37	43	8	5
6期生	108	40	51	6	11
7期生	89	24	55	7	3
8期生	85	28	43	6	8
9期生	89	26	48	5	10
10期生	73	21	47	3	2

[第11期給付者数見込み]

第11期については2022年3月に84名が卒業予定で、第11期生としての進学希望者が81名

いるため、第 11 期の給付者数は最大で 290 名となる見込みです。

② 奨学金給付金額

第11期奨学金給付予定金額	
第3期生への年間給付予定金額	1,000千円
第4期生への年間給付予定金額	1,000千円
第6期生への年間給付予定金額	7,000千円
第7期生への年間給付予定金額	4,000千円
第8期生への年間給付予定金額	57,000千円
第9期生への年間給付予定金額	66,000千円
第10期生への年間給付予定金額	74,000千円
第11期生への年間給付予定金額	90,000千円
給付予定金額総計	300,000千円

第11期の給付予定金額は300,000千円になる見込みです。この3億円の試算をベースに年間の資金繰りを行ってまいります。

③ 奨学生の交流促進

・年次面談(2021年9月～11月実施予定)

東京・仙台・盛岡の3会場において、新型コロナウイルスの状況をふまえオンライン会議システムも活用し、奨学生全員との面談を実施します。基金スタッフが全ての奨学生の話聴ける年に一度の機会であり、学生生活の様子や困りごとなどを聴き、奨学生の心のケアにつなげます。

・奨学生の集い(2022年3月実施予定)

基金奨学金の給付を受けて進学する生徒たちを進学前の3月に招き、奨学生の集いを実施します。これは奨学生の門出の祝いと奨学生同士の交流促進を目的としたものです。理事、評議員、寄附者(支援者)、基金在学生等が一堂に会する唯一の機会でもあり、奨学生には基金に関わる全ての方々との交流を図ることで、運営者・寄附者の想いを理解してもらう会として実施予定です。2016年より、企画の段階から奨学生にも関与してもらい、意見や提案をいかして開催しています。

・交流イベント(2022年5月および8月実施予定)

宮城・東京にて、交流イベントの開催を予定しています。奨学生たちが気軽に集い情報交換しながら、自身の夢に向かって何らかの「気づき」を得られる場の提供を目的としたものです。5月には日帰りでの交流会、8月(夏休み期間)には、1泊2日での交流会を実施します。3月の集いで出会った奨学生同士が、その後の交流を深めるためのイベントとして位置づけています。

・広報紙「みちのく未来通信」(2022年1月、4月、9月発行予定)

寄附者や奨学生等の基金関係者に対して、活動の現状を伝える広報紙「みちのく未来通信」を年3回継続して発行します。

以上